

「医療機器開発への持続的な価値を生み出す デザインアプローチの活用」 ～コロナ禍中に得た事業の学びを次の時代へ～

令和3年度
開発途上国・新興国等における医療技術等
実用化研究事業成果報告会

AMEDでは「開発途上国・新興国等における医療技術等実用化研究事業」を通じて、開発途上国・新興国等の臨床現場ニーズに基づいた医療機器開発を行うため、デザインアプローチを用いた研究開発支援を行っております。

本事業の令和3年度課題の成果について、国内医療機器メーカーやアカデミアの方々等にご紹介し、今後の医療機器開発に役立てて頂くため、成果報告会を開催致します。多数の方の参加をお待ちしております。

日時 2022年3月7日（月） 13:00～15:30

会場 オンライン開催

定員数 200名（事前申し込み先着順）

参加費 無料

プログラム

開会挨拶

国立研究開発法人日本医療研究開発機構

来賓挨拶

厚生労働省

事業説明

国立研究開発法人日本医療研究開発機構

特別講演 「デザインアプローチを用いた医療機器開発の持続的な事業価値の創出」

マッキンゼー・アンド・カンパニー・インコーポレイテッド・ジャパン

シニアデザインエキスパート マット・デュラック

成果発表と質疑応答 「コロナ禍での医療機器開発の課題と学び」

事業採択課題 発表者

プログラムオフィサー 東北大学病院 特任教授 中川 敦寛

プログラムスーパーバイザー 大分大学学長 北野 正剛

閉会挨拶

※構成、内容につきましては今後変更される可能性があります。

【参加登録方法】

『開発途上国・新興国等における医療技術等実用化研究事業』成果報告会

下記ホームページの申し込みフォームよりお申し込みください。

https://www.amed.go.jp/news/event/20220307_shinko-kiki.html

【お問い合わせ】

医療機器・ヘルスケア事業部 医療機器研究課

開発途上国・新興国等事業担当

電話：03-6870-2213 E-Mail：shinko-kiki@amed.go.jp



国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
Japan Agency for Medical Research and Development